

設置完了後、確認する

□ 確認項目

包装材料の取り外し ● 部品止めテープ(グリル・本体操作部・排気パネル) ・ グリル庫内包装材など

同梱部品などの取り付け ● サイドカバー ・ 前カバー ・ 前飾り枠 ・ 脱煙・脱臭メタルフィルター ・ フィルター ・ グリル(グリル皿・扉)
● 排気パネル ・ 防水カバー ・ 排気口カバー

外 観 ● 本体が前後左右に傾いていないこと ● トッププレートの左右に傾き・隙間がないこと
● フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと
● トッププレートが汚れていないこと ● 前カバーが浮いていないこと
● 扉と本体操作部に段差がないこと

電気工事 ● 電源電圧が単相200Vであることを確認する
※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。 ▶ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。
● アースが接続されていること ● 漏電遮断器が設置されていること
● 契約容量ブレーカーを確認すること

作 動

1 電源スイッチを入れる ▶ 「電源」表示点灯。

2 各ヒーターの作動を確認する ▶ 表示の点滅を確認する。
● 左IHヒーター： (< > →)
● 右IHヒーター： (< > →)
● 後ろIHヒーター： (< > →)
● グリル： < →

● すべてのIHヒーター
● グリルはしばらくすると熱くなる。

<赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合>

3 レンジフードとの「連動/非連動」を確認する(出荷時は「連動」に設定)

● 連動：①各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。 → レンジフードが作動する。
②すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。 → レンジフードが停止する。
(レンジフードによっては数分間残置運転して停止する)

● 非連動：① [<] → [>] → [設定] を押す。(「設定」の「換気連動の切/入」画面表示)
[<] で「切」を選択し、[決定] で決定。

②いずれかのヒーターを入れる。 → レンジフードが作動しないことを確認する。
・確認後は、同じ操作で「換気連動の切/入」の設定を「入」に戻してください。

※「連動」になっているのに、レンジフードが作動しない場合
赤外線コードを切り換えて確認してください。(P.11)
→それでも連動しない場合は、お買い求め先またはお問い合わせ窓口(取扱説明書ご参照)にご相談ください。

■電気試験後は ● 必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
● 取扱説明書・設置説明書・レシビ集(もっとIH! おうちメニューが増える本)・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了
確認者印

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

パナソニック株式会社 くらシアプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2022

ZY16-M00
S0222Y0

設置説明書

IIH クッキングヒーター

<赤外線式換気連動対応>

	トッププレート幅 75 cm	トッププレート幅 60 cm
品番	CH-VRK7AN CH-VRS7AN CH-MRK7AN CH-MRS7AN CH-TRK7AN CH-TRS7AN	CH-VRK6AN CH-VRS6AN CH-MRK6AN CH-MRS6AN CH-TRK6AN CH-TRS6AN

もくじ

安全上のご注意	2 ページ
設置場所	3
外形寸法/同梱部品の確認	4
電気工事をする	5
本体の設置	6
設置完了後、確認する	裏表紙

- 設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、設置前に必ずお読みください。
- ガス機器から付け替える場合
ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。
事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 排気接続のビルトイン電気オープンレンジを設置する場合は、必ず電気オープンレンジの設置についての説明書に従ってください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にするをおすすめします。60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の総消費電力を4800Wに切り換えるをおすすめします。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止 してはイケない内容です。

禁止 実行しなければならない内容です。

警告

- 電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う（接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因）
- 200 V・30 A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する（この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因）
- アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
- アースを確実に取り付ける（漏電すると、感電の原因）
- 絶対に分解・修理・改造は行わない（火災・感電・けがの原因）
 - ・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。
- トッププレートに強い衝撃を加えない
 - ・上に乗ったり、工具・鍋などを落としたりしない
 - ・コーナー部を強い力で押さえない（万一ひびが入ったり割れたりすると、感電や過熱・異常動作の原因）
- 試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない（やけどの原因）

注意

- ワークトップは、耐熱材料を使う
 - 熱硬化性樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物（耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因）
※ニス引きのものは変色するため使わない。

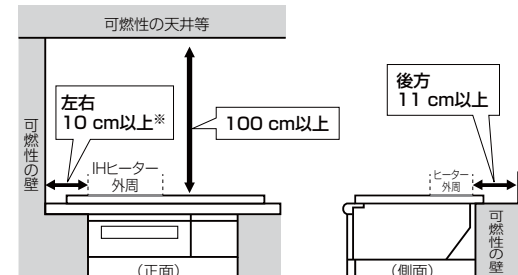
設置場所

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準に従って設置してください。

〔消防法 基準適合 組込形（特定安全IH調理器適合品）〕

■可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

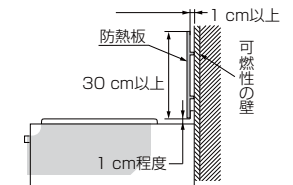


グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。
※トッププレート幅75 cmの場合は、左右13 cm以上。

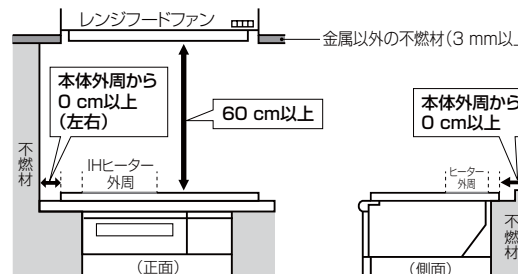
■上記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーターを中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、右図と同じ距離を設けてください。



■レンジフードおよび不燃材の場合



グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。

※レンジフードの設置すれ（左右・前後）が大きいと、換気運動が動かない場合があります。

※換気運動モデルを近接して複数設置されると、機器の信号どうしが影響し、誤動作する場合があります。

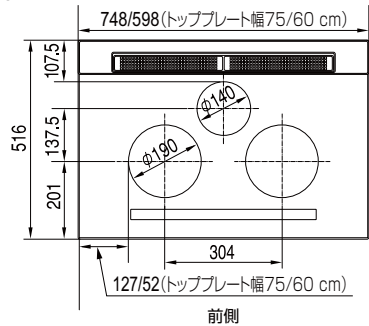
お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています）

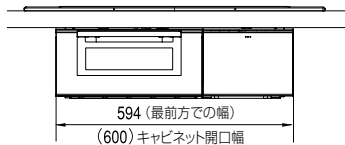
外形寸法 / 同梱部品の確認

外形寸法図

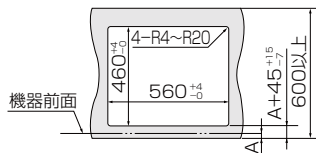
■平面図



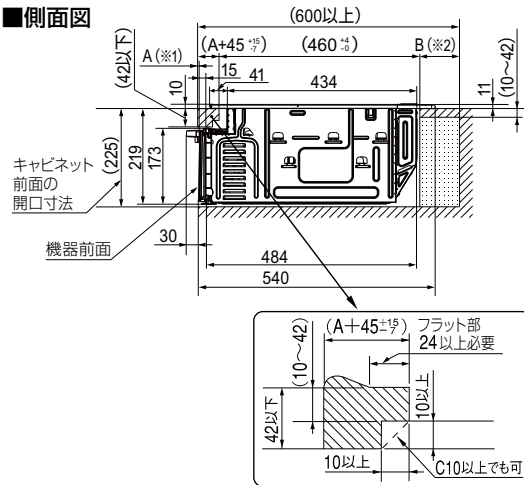
■正面図



■取り付け穴 (ワークトップ開口部寸法)

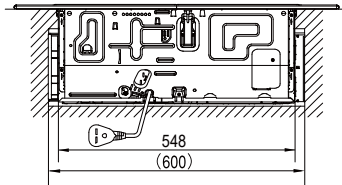


■側面図



- ※1: A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。
- ※2: B寸法(後方スペース)が80 mm以上あれば、パナソニック(株)製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。
- コード長さ: 約0.7 m

■背面図



同梱部品

※必ず設置前にご確認ください

グリル皿: 1個 	扉: 1個 	サイドカバー: 各1個 (左) (右) 	前カバー: 1個 	前飾り枠: 1個 	脱煙・脱臭メタルフィルター: 1個 フィルター: 1個
--------------	-----------	----------------------------	--------------	--------------	--

※排気パネル、排気口カバーは製品にセットされています。

電気工事をする

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200 V・30 Aの専用回路

- 三相200 V(動力電源)は使わない(故障の原因)

■屋内配線用電線

単線直径2.6 mm以上または、より線5.5 mm²以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

漏電遮断器の設置

●推奨漏電遮断器<パナソニック(株)製>

品番	BJS3022N (HBモジュール) または BSHE23022 (コンパクトタイプ)
定格電流	30 A 感度電流 15 mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一端接地用に配線してください。)

■コンセントの種類・位置

●推奨コンセント<パナソニック(株)製>

定格	IHクッキングヒーター 200 Vコンセント	電気オープンレンジ	
		100 Vコンセント	200 Vコンセント
品番	(埋込型) WF3630B または (露出型) WK36301B	(埋込型) WN1031	(埋込型) WN1932 または (露出型) WKS294

●コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキングヒーター コンセント ①寸法	電気オープンレンジ コンセント ②寸法
850 mm	700 ± 15 mm	商品によって異なります。 詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。
800 mm	650 ± 15 mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。

■仕切り板より下にコンセントを設置する場合

(仕切り板のあるキャビネット)

ホールソーなどを使い、φ6 mm以上φ100 mm以下の穴を開ける。
※穴を塞ぐときは、シーリングプレート(あっせん品)を貼り付けてください。

●シーリングプレート

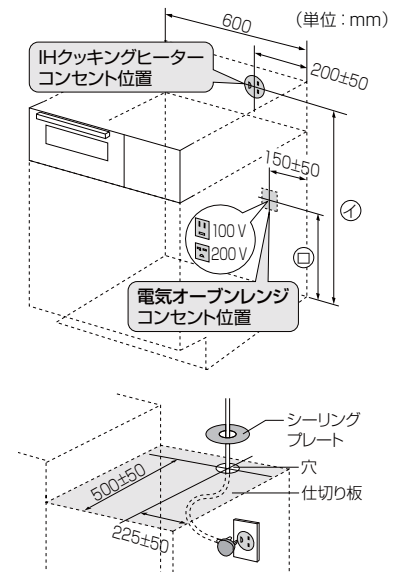
品番: KZ-042 (外径約140 mm、内径約30 mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

○お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。
- コンセントは必ず固定してください。(接続・固定が不完全な場合、漏電、火災の原因になります。)



本体の設置

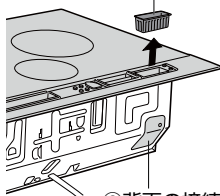
※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む

排気接続の電気オープンレンジを設置する場合

●IHクッキングヒーターに、電気オープンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。

①排気口カバーを外す。
(使用しません)

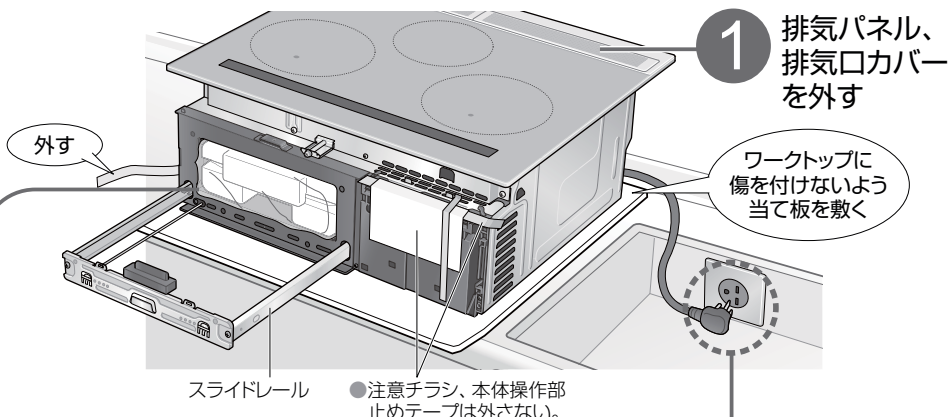


②背面の接続口カバーを外す。

③IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オープンレンジの排気口に接続する。

※IHクッキングヒーターと電気オープンレンジの前面の位置をそろえてください。

※詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

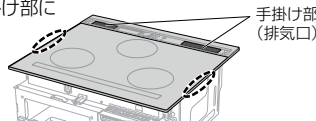


2 グリルの包装材を外し、グリル皿を取り出す

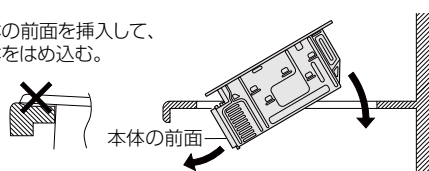
- ①グリル止めテープを外し、スライドレールを引き出す。
- ②包装材を外し、グリル皿を取り出す。(グリル皿の包装材も外す)
- ③スライドレールを戻す。

3 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

- フレームの左右部分を持って、本体をはめ込む。(手を離す時は手掛け部に持ち替える)



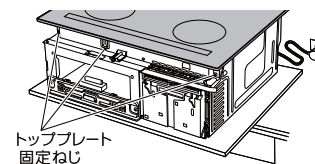
- 本体の前面を挿入して、全体をはめ込む。



※膨らみに乗り上げないように、フラット部にセットする。

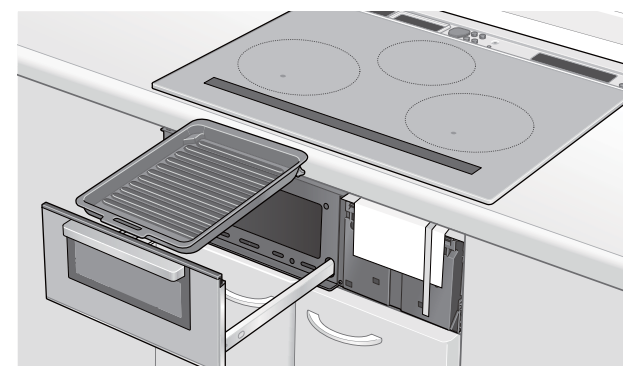
- 前面をワークトップに当てたり、グリル皿ホルダーが引っ掛かったりしないように注意する。(破損したり、グリル皿ホルダーが変形したりする原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。(本体が浮き、隙間がばらつく原因)
- フレーム下面とワークトップの隙間が、ほぼ均一かどうかを確認する。
※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

■トッププレート固定ねじの締め直し方

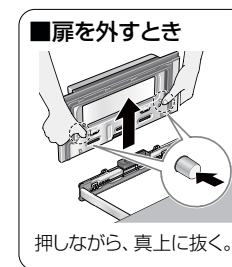
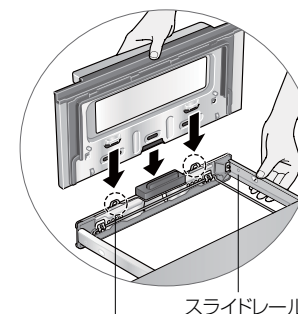


- ①本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ②トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。(続けて左右も締め直す)
- ③再度ワークトップに本体をはめ込み、隙間がほぼ均一であることを確認する。

②グリルの扉を取り付ける

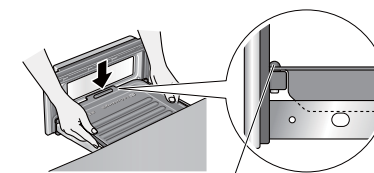


1 扉を取り付ける



グリル扉取り付けツメを、3か所同時に奥まで確実に差し込む。
(中央のツメはスライドレールの外側にあります)

2 グリル皿をスライドレールに載せる



- グリル皿の穴をグリル皿ホルダーに落とし込む。

3 扉を閉める

本体の設置

③ サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

2 サイドカバー(左右)を取り付ける

ツメ
溝
リップ

突起
溝

サイドカバー(左)のリップを溝に合わせ、外側に回すように差し込む。
(2か所のツメが本体側面の穴にはまる)
※無理にまっすぐ押し込むと、ツメが割れる原因

サイドカバー(右)の溝を突起に合わせ、全体をまっすぐ押し込む。
(本体側面の穴にはまる)

●キャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

1 注意チラシと本体操作部止めテープを外す

■サイドカバー(左)を外すとき

③ 本体の位置を調整する

- ①キャビネットと本体左右の隙間を均一にする
- ②キャビネットの扉面に本体前面を合わせる
※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。
はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて、薄いへら状のもので軽く押し込む。
- ③調整後は、いったん扉を外す (P.7)
(前固定金具を締め、前飾り枠を付けるため)

④ 固定する

防水カバー

ねじを確実に締め付ける。
(後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。)

後固定金具

1 防水カバーを外し、後固定金具を固定する

●防水カバーを取り付ける。
※傷付きに注意してください。

2 前固定金具を固定する

- ①ねじを緩めて、前固定金具を緩める
- ②前固定金具をねじの上に乗せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

●ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い(約70 mm以上)ドライバーをお使いください。

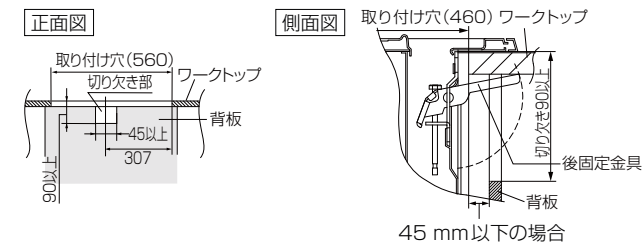
●固定後は、次のことを確認する。
・フレームを押し当てて動かないこと
・トッププレートの左右で傾き・隙間がないこと

※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。(P.7)

※固定された図(例)
(ワークトップの形状により、前固定金具の固定位置が異なります)

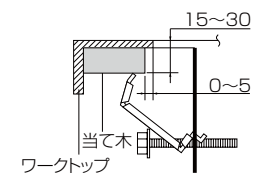
■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45 mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。



■ワークトップの厚みが薄い場合

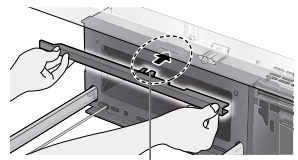
当て木を添える。



本体の設置

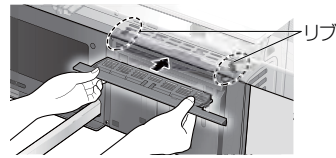
⑤前飾り枠・フィルター・前カバーを取り付ける

1 前飾り枠を取り付ける



●前飾り枠の凸部を奥まで差し込む

2 フィルターを取り付ける



●リップ(2か所)に沿って奥まで差し込む

3 前カバーを取り付ける

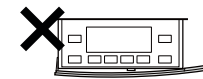
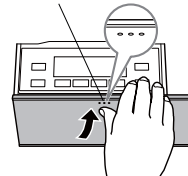
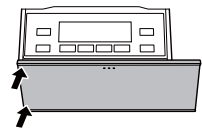
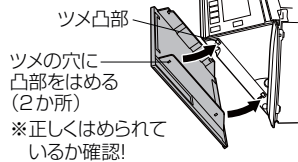
●右側→左側→中央の順に取り付ける。

①右側を取り付ける

②左側を押し込む

③中央を押す(しっかり押さえる)

④中央が浮いていないか、ツメが正しくはまっているか確認する

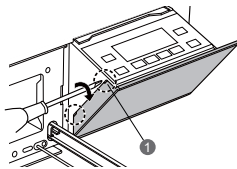


ツメ凸部
ツメの穴に凸部をはめる(2か所)
※正しくはめられているか確認!

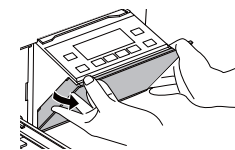
※前カバーが汚れているときは、湿らせたやわらかい布などで優しく拭く(布などが汚れていたり、強く拭いたりすると傷付きの原因になります。)

■前カバーを外すとき

- ①グリル扉を外す
- ②操作部を開き
- ③⊖ドライバーでねじるように左側のツメを外す(2か所)



①のツメが再びかからないように左上部を引っ張る)



●前カバーに手を添えながら取り外してください。

⑥扉・脱煙・脱臭メタルフィルター・排気口カバー・排気パネルを取り付ける

① グリルに扉を再セットし、閉める

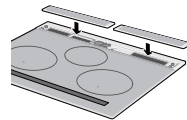
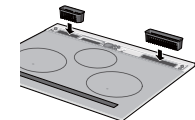
② 脱煙・脱臭メタルフィルターを取り付ける

③ 排気口カバーを取り付ける

④ 排気パネルを取り付ける



●(テマエ)の刻印を手前に入れて入れる



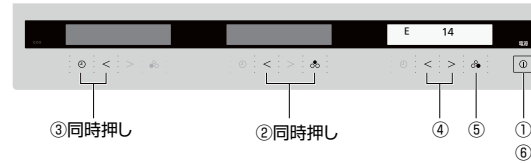
換気連動(赤外線)コード・消費電力の切り換えが必要なとき

■換気連動(赤外線)コードの切り換え

P 2 : 家製協フォーマット 36.7 kHz (パナソニックレンジフード)
E 14 : NEC フォーマット 38.0 kHz (その他のレンジフード)

左記の2種類から選択できます。
(出荷時は E 14)

●設置完了後の作動確認③で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。

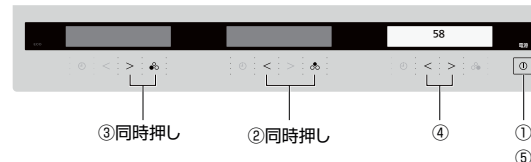


- ①電源スイッチを入れる
- ②5秒以内に後ろIH操作部の<<と☼を同時に押す
- ③2から5秒以内に左IH操作部の☼と<<を同時に押す(E 14 を表示)
- ④右IH操作部の<>で切り換える(E 14 → P 2)
- ⑤右IH操作部の☼を押す(切り換え完了)
- ⑥電源スイッチを切る

■総消費電力の切り換え(4800 W/5800 W)

出荷時は5800 Wに設定しています。

●必ず契約容量ブレーカー(契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー)をご確認いただき、総電気容量が60 A未満の場合は、総消費電力を4800 Wに切り換えることをおすすめします。



- ①電源スイッチを入れる
- ②5秒以内に後ろIH操作部の<<と☼を同時に押す
- ③2から5秒以内に左IH操作部の>>と☼を同時に押す(58 または 48 を表示)
- ④右IH操作部の<>で切り換える(58 → 48)
- ⑤電源スイッチを切る(切り換え完了)

■扉と本体操作部に段差がある場合

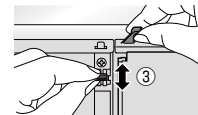
本体操作部側で微調整することができます。
(前後に合計5段階)

●1段あたり約0.5 mm、前後に移動します。

①扉、前カバー、サイドカバー(右)、フィルター、前飾り枠を外す

②調整したい部分のねじ(上側調整時: ①、下側調整時: ②)を緩める

③緩めたねじ付近の本体操作部を手前に引っ張りながら、段差がなくなる位置にスペーサーを上下に移動する(引っ張る場所は上: ④、下: ④部分の下に指をかける)



●調整できたら、緩めたねじを締め直し、取り外した部品を再度取り付け

●お願い ●調整するときは必ず「上側の左右2か所」、「下側の左右2か所」をセットで同量だけ移動させてください。
(片側だけ移動したり左右で移動量を変えたりすると、本体操作部がねじれて開閉不良や異音の原因になります。)

